

平成22年4月14日

必ず保護者の方に渡し相談して下さい

3学年・補習科の生徒・保護者の皆様

島根県立松江南高等学校
総務部予約奨学生担当

独立行政法人日本学生支援機構大学・短大・専修学校専門課程
予約奨学生募集説明会（生徒対象）の実施について

このことについての説明会を、**4月20日（火）終礼後16：50から記念館ホール**で行います。この奨学金制度は募集人員・利用者数ともに国内最大のものですが、第1種奨学金（無利息）の予約採用（高校在学中に進学先での奨学金を借りる手続きをすること）の申し込みの機会は**今回の一度限り**です。希望する人は裏面の案内を参考にして保護者の方とよく相談し、必ず説明会に出席してください。

なお、今回の予約ではなく、大学等進学後同じ内容の奨学生を「大学等の在学奨学生」として募集しますので、進学決定後こちらからの応募も可能です。

<参考>

昨年度案内のあった大学等進学者に対する奨学金の主なものは次のとおりです。

1. 日本学生支援機構（今回説明会を予定している奨学金）
 - ・第1種奨学金（無利子貸与）月額4.5万～6.4万 昨年南高より87名中29名採用
 - ・第2種奨学金（有利子貸与）月額3万～12万 昨年南高より104名中104名採用
 - ・入学時特別増額貸与奨学金（有利子貸与）入学時10万～50万
（利率等については<http://www.jasso.go.jp>を参照）
2. コカ・コーラボトラーズ育英会 10月
県内1名 月額1.5万給付
3. マルチ奨学生 11月
島根・鳥取両県で60名 月額5万無利子貸与 昨年南高より4名中4名採用
4. 島根県育英会 来年の10月～3月
 - ・就学生 県内50名 入学時50万または100万を有利子貸与
 - ・奨学生 県内52名 月額3万～7万 無利子貸与
（日本学生支援機構奨学金と併用不可）昨年南高より9名中0名採用
 - ・県育英会の「大阪学生会館」の入寮希望者募集[寮費は月6万（2食込）]
10月より受け付け開始
5. 松江市奨学金 来年4月
保護者が、新松江市在住 月額3.2万無利子貸与
（日本学生支援機構奨学金・島根県育英会奨学金とは併用不可）
6. 高井育英会 来年の4月
保護者が、新松江市在住 月額1.9万給付
7. その他に次のような制度・団体があります。
交通遺児育英会、母子・寡婦福祉資金（各市の福祉事務所）、
生活福祉資金（社会福祉協議会）

奨学金予約のご案内

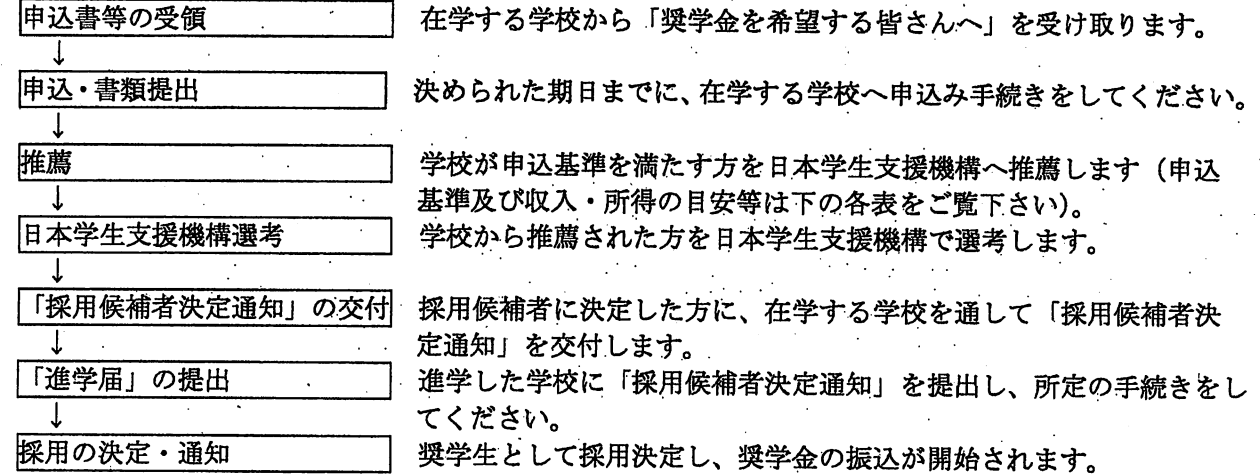
大学・短期大学・専修学校（専門課程）に進学を予定している皆さんへ

日本学生支援機構では、意欲と能力のある生徒が経済的理由により大学・短期大学及び専修学校（専門課程）への進学をあきらめることのないよう、進学を希望する方を対象に、進学前に経済的な面で安心の提供を行うため奨学金の予約を行っています。奨学金予約の概要は次のとおりです。

【申込先】 在学する学校の奨学金窓口へ申込みます

【申込時期】 各学校で申込期限が設定されていますので、在学する学校に確認してください

【申込から採用までの流れ】



奨学金の種類・月額・申込基準等

	月額（大学の場合、卒業までの各月）	申込基準
第一種奨学金 （無利息）	国公立・自宅 45,000円	・1年次から申込時点までの全履修科目の評定平均値が5段階評価で3.5以上 ・機構の定める収入基準を下回っていること（収入・所得の目安を参照）
	国公立・自宅外 51,000円	
	私立・自宅 54,000円	
	私立・自宅外 64,000円	
	上記額又は30,000円から選択	
第二種奨学金 （年利3%を上限とする利息付）	3・5・8・10・12万円から選択	・全履修科目の学習成績が平均水準以上である等 ・機構の定める収入基準を下回っていること（収入・所得の目安を参照）

※上記月額に入学時特別増額貸与奨学金（10万円、20万円、30万円、40万円、50万円からの選択、利息付）を付け加える制度もあります。

収入・所得の目安

区分	給与所得の世帯（源泉徴収票の「支払金額」）			給与所得以外の世帯（確定申告の「所得金額」）		
	第一種	第二種	併用	第一種	第二種	併用
3人世帯	825万円以下	1,072万円以下	647万円以下	354万円以下	586万円以下	230万円以下
4人世帯	882万円以下	1,134万円以下	693万円以下	396万円以下	648万円以下	262万円以下
5人世帯	915万円以下	1,247万円以下	727万円以下	429万円以下	761万円以下	286万円以下

* 併用とは第一種と第二種を両方同時に受けることです。

- ・ 学力・家計基準等に従い選考があります。上記の「申込基準」「収入・所得の目安」を参照してください。なお、第一種奨学金については、予算上の制約から申込基準を満たしていても不採用になることがあります。
- ・ 進学しない可能性があっても、申込みできます。
- ・ 入学時特別増額貸与奨学金を含め、貸与が始まるのは入学後です。入学前に入学金納入のための資金が必要な場合は、労働金庫の「入学時必要資金融資」制度や日本政策金融公庫等の「教育貸付」制度等をご利用ください。
- ・ 日本学生支援機構の奨学金は貸与です。進学先の学校を卒業後は、全額（第二種は利息を含む）を必ず返還しなければなりませんので、適切な貸与月額を選択するようにしてください。
- ・ 詳細は在学する学校から受け取る「奨学金を希望する皆さんへ」及び日本学生支援機構ホームページ（<http://www.jasso.go.jp/saiyou/index.html>）を参照してください。
- ・ 問い合わせは在学する学校を通じてお願いします。